



熱戦 聖中祭

関連記事は2ページをご覧ください



広報せいろう **10** October No.423
 2011

●●● 主な内容 ●●●

聖中祭	2P
中学生海外研修	4P
敬老会	10P
消費生活通信	11P
がんばってます！東港立地企業	12P
町の動向	13P
交通安全NEWS	14P
おしらせ	16P
町職員採用試験	18P
アルビレックス新潟情報	26P
JAPANサッカーカレッジ	27P
みんなの広場	28P

聖中祭開催

空前絶後〜歴史に刻めこの瞬間〜

9月3日(土)、ギラギラと太陽が照りつけ、また台風の影響か時折強風が吹くといったコンディションの中、恒例のスポートフェスティバル 聖中祭が開催されました。

保護者や地域の皆さんから大勢の声援が飛び交う中、五色のチーム(軍)に分かれた生徒達は、この日のために努力してきた成果を十分に発揮していました。

団長を支え、各軍をまとめてきた副団長から、聖中祭を終え、楽しかったことや苦労したことなどの感想をいただきました。



緑軍 副団長



神村 有紀さん
(3年4組)

緑軍は最初、声を出す人が少なくして正直ちゃんと応援の形ができるか不安でした。でも、少しずつ踊りや隊形もまとまりができて、緑軍という軍団ができて、あがっていききました。聖中祭当日は晴れて競技も順調に進み、午後の応援合戦になりました。緑軍は一番で緊張したけれど、一人一人声が出ていたし隊形もよくできていて、今までで一番良かったと思います。競技は途中4位でだめかと思っていたけれど、最

後のつな引きと選抜リレーで1位だったので、逆転で競技賞が取れました。また応援賞も取ることができ、緑軍は総合優勝しました。今まで大変だったけれど、中学校最後の聖中祭はいい思い出になりました。緑軍のみんなのおかげです。緑軍のみんな、お疲れさまでした。そして、ありがとう!!



赤軍 副団長



高橋 優衣奈さん
(3年2組)

私は初めての応援団で副団長という聖中祭でも大事な役割になりました。練習では、みんなをまとめたりするのが思ったよりもすごく大変で、本番は大丈夫かなと思ったときもありました。でも、練習を重ねていくうちに、みんなが積極的に動いてくれたりして、まとまり感ができきました。本番の応援合戦では、声はしっかり出ていたけれど、風が強くてポンポンを練習どおりに使うことができなかったのが残念でした。だれどみんなが応援団の指示を聞いてくれたおかげで、ポンポンが無くてもいい応



援をすることができたので良かったです。そのおかげで応援の部では3位を取ることができてうれしかったです。最後の聖中祭でいい思い出をたくさん作れて良かったです。赤軍のみんな、ありがとう。



青軍 副団長



諏訪 唯さん
(3年5組)

私は3年生になって初めて応援団になりました。2年生の時、あんなになりた



かった応援団ですが、いざ青軍の副応援団長となると、緊張で頭の中が真っ白になりました。応援歌や踊りやポン文字など、応援団全員で意見を出しあって決めました。決めるまでも大変でしたが、それを青軍全体がまとまってできるようになるまではもつと大変でした。私が、応援団としてできることは、誰よりも大きな声を出すことだと思えました。一生懸命は伝染するようで、少しずつみんなが大声を出してくれるようになり嬉しかったです。

たくさんさんの競技や応援活動に参加できて思い出に残



相馬 里菜さん
(3年3組)

黄軍 副団長

私は、応援団に初めてなりました。初めて応援団になったのに、副団長になったので、責任が重大な役割になってしまいました。夏休みに集まった時は、



る聖中祭でした。ポン文字のAOがきれいにできて、本当に嬉しかったです。総合優勝は、取れなかったけれど、青軍最高でした。青軍のみんな、ありがとう。



あまり責任感を持っていないくて、副団長の重大さを分かっていたりませんでした。でも日に日に副団長という実感がわいてきて、責任の重大さを感じました。

みんなに踊りや歌を教える大変さなどがわかりました。

最初から最後まで、ずっと応援の振り付けなどを変更ばかりしてしまっただけで、みんなちゃんと覚えてくれて良かったです。

みんなが頑張ってくれたおかげで応援賞2位を取る



鈴木 千遥さん
(3年1組)

黒軍 副団長



ことができました。黄軍のみなさん、本当にありがとうございました。

黒軍は最初全く声がかでていませんでした。振り付けも恥ずかしくって元氣よく踊ってくれませんでした。聖中祭まであと何日もないのにこのままでは、目標としている応援賞を取れないと思ひ、応援団でどうしたらよいかとたくさん考えま

した。でもだんだん聖中祭が近づくとつれてみんな声を出してくれるようになりました。そして、聖中祭当日は、どの軍も声が大きくて不安になりましたが、私の不安とは裏腹に、黒軍のみんなはとても大きな声で歌ってくれました。結果的に応援賞は取れなかったけど、私の中では今までで一番大きな声でした。1年生は初めての聖中祭だったのにすばやく移動してくれ、2年生は一番大事なハートの隊形をきれいに決めてくれました。また、3年生は、とても大きな声で歌ってくれました。最後の聖中祭、最高の思い出になりました。

最後に、私を支えてくれた応援団、そして黒軍のみんな本当にありがとう！



町の中学生がオーストラリアで異文化を体験

前編



八月一日から十二日までの十二日間に渡り、今年度も町教育委員会の補助によるホームステイ研修が行われました。研修先は、オーストラリアのシドニー近郊、プロスペクトという地域です。エベネザクリスチャンハイスクールでは、語学研修として全て英語による授業を行い、さらに現地の授業にも参加しました。

今年度は聖籠中学校の三年生が二名、二年生が四名、一年生が三名、町在住の中学生が四名の計十三名（男子六名、女子七名）が参加しました。生徒は六つの家庭に分かれ、十日間のホームステイを体験しました。お世話になった家庭はみな敬けんなクリスチャンですが、人種・民族が異なるため、文化や食生活が異なります。生徒は互いの経験を語り合い、多民族国家を肌で感じる事ができたようです。

また、語学研修を行ったエベネザクリスチャンハイスクールは、初等部から高等部まであわせてもたった二十一名、年長の生徒が実のお姉さんのように小さな生徒の面倒を見る、とても家庭的な雰囲気のある学校でした。日本からの海外研修を受け入れるのはじめての学校で、お互いに新鮮な気持ちで交流をしました。言葉はなかなか通じなくてもジェスチャーを交え、スポーツや手遊びをお互いに教えあい、瞬間に仲良くなりました。エベネザの生徒たちはなんとか聖籠の生徒と交流しようとして、日本語を教わっては使い、身につけていきました。そういった姿は外国語学習をする姿勢として、聖籠の生徒には大きな刺激となったはず

学校の授業も異なる部分が多くありました。例えば午後の授業です。日替わりで社会、理科、数学となっていました。二時間続きのこの授業の形式が新鮮でした。生徒は小グループに分かれ、それぞれのテーマの調べ学習や作業を行います。その日の最後に調べたことや作った作品について、プレゼンテーションをし、それを題材に質問をしながら、議論をします。こういったことを日々行っているため、エベネザの生徒たちはあっという間に発表準備をし、実に堂々と発表、議論をしていました。小規模学校ならではの授業であり、生徒も私も大いに刺激を受けました。

ホームステイは、日本の生活習慣との違いを体験できる絶好の機会となりました。ホームステイ先での食事の量や味に戸惑ったり、「寒いのに伝わらない」など意思疎通に苦労したりしたようでしたが、どのご家族も優しく親切で、本当の家族のようにかわいがってもらいました。

「言葉が通じなくとも外国の人たちと交流ができる」という手ごたえを感じつつ、「言葉がもつとできれば・・・」という悔しさも感じていました。この体験がこれからの語学学習の大きなきっかけとなったはず。また今回参加した生徒たちがこの体験を日本の仲間たちに伝え、それが良い刺激となり、町から世界に羽ばたく人材が多く輩出されることを期待しています。十三名の生徒たちの感想を今月号と来月号の2回に分けて掲載します。

文責：聖籠中学校教諭 田中健太（引率者）

オーストラリア語学研修に参加して

聖籠中学校3年

渡辺 向元
わたなべ さきむか

オーストラリア研修に参加した動機は、英語をもっと知りオーストラリアの生徒と交流してみたいと思

ったからです。一日目は、

すぐ緊張しました。ちゃんと英語を話せるか、聞き取れるかが不安でいっぱいでした。でも一緒に研修に行く仲間達も不安だったと思うので自分だけじゃないと、ちよつとだけ気持ち

軽くになりました。

オーストラリアに着いて、初日は、シドニー観光をしました。日本とは、気温が異なりオーストラリアは寒いと聞いていたので、防寒着を持って行きましたが、あまり寒くはなく、日本の秋のような過ごしやすい気候でした。ビーチは、海がとてきれいでゴミもなくすばらしい景色で

した。その後研修先の学校へ行き校内を案内してもらい簡単な自己紹介をしました。生徒が二十数名と、先生が五・六人の想像とは違

た。教科は、英語、美術、数学、体育をやりました。日本とは授業も異なりオーストラリアの学校は、授業と授業の間にティータイム

三日目からは、本格的に英語の授業を受けました。

土曜日は、ホストファミリーと一緒にシドニー観光

最初は何を言っているのかわかりませんでした。理解できず大変困りました。が、なんとか単語を聞き取って答え、コミュニケーションをと

りながら授業に取り組んでいました。自分の言っていることが相手に通じな

かったのが残念で、もっと勉強をしていけばよかったと反省しました。その後ホストファミリーの都合に合わせて経営する会社に行つて、卓球をしながらホストファミリーの退社時間に合

わせて帰宅をしました。翌日からは、英会話に耳が少しなれたせいかだいた

い授業がわかってきまし

た。教会は、初めて行ったのでどういうところかわかりませんが、神に祈りをささげるところだと感

じ、日本と違う宗教文化だと勉強になりました。

学校も残り二日となり本

「あなたはオーストラリア

で楽しい時間をすごしたと思

ホストファミリーは僕たちを

れました。身の回りの世話を

迎えてくれました。僕たちは、とても素敵なファミリーと出会ったおかげで

この研修中充実した時間が

過ごせました。家の中で僕たちは、食事の準備など簡単なことしか手伝うことができず、ファミリーに甘えてばかりでした。Mother

(ホームステイ先のお母さん)の料理は、とてもおい

しかったですが、プリンの中にライスが入っていたのはびっくりして「これだけは、食べられません」と素直にあやまりました。僕の

気持ちは、ホストファミリーへの感謝の気持ちでいっぱい

文化や習慣の違いが見えませんでした

聖籠中学校3年

本間 蘭奈

オーストラリアへホームステイをして、本当によかったと思います。

私は、外国に興味があり、行ってみたいなどずっと思っていました。英語はペラペラしゃべれるほどではなかったけれど、行けばなんとかなると思つてホームステイに行きました。一日目は観光をして、夕方、次の日から通う学校に行き、この生徒や先生方、ホームステイ先の家族と顔あわせをし、それぞれの家へ行きました。ホームステイ先での最初の夜は少し緊張しました。英語で簡単な話をするくらいで、二日目からだんだん慣れていき、夕食の時はすごく楽しかったです。

学校では午前中に英語のレッスンをし、午後から

現地の子どもたちと一緒に授業を受けました。オーストラリアでは、午前十時に

モーニングティーというものがあつて、時間になると20分間位、みんなでジュースやお菓子を食べていました。

お昼休みには小学生のチビッ子たちと鬼ごっこをして遊びました。次の日からは毎朝鬼ごっこをして疲れたけれど、すごく楽しかったです。あつちの子から寄つてきて、じゃれて遊んだり、ボールを使って遊んだりと、もうみんな元気で

だり。今年から始まった学校で、小・中・高が一緒で、全校で二十一人しかいない小さい学校でした。女の子が多かったです。みんな元気で、日本の子と違って、本当にみんな元気で楽しかったです。

私がホームステイした家の人たちは、すごくいい人たちで、英語で解りやすく聞き取りやすく話してくれました。ご飯を食べる時、

みんなではしを使って食べたり、私たちの家族や仕事のことを話したり、オーストラリアについて教えてく

れたりと、とても楽しく、いろんなことが学べた時間でした。街を見ていて、日本と違うことだらけだなあと

思うことばかりでした。そう思うところで、日本のいいところ、オーストラリアのいいところ、たくさん見つけました。こつちへ帰る時、本当に来てよかったなあと思えました。

さよならは悲しかったけれど、これからもこの体験を活かしていきたい。そして、もっと勉強して、次に会える日があつたら、もっとたくさん話したいと思えました。今回、このホームステイに参加して学んだことは、とてもたくさんあります。ルールをしっかりと守つたり、人と人との関わりがすごく大事で、日本とオーストラリアの文化や習慣の違いがたくさん見つけ

られたり、参加してほんによかったと思えました。そして、向こうで温かく迎えてくれた学校の人たち、ホームステイを受け入れてくれた家族、今回参加させてくれた両親に、すごく感謝しています。とてもいい体験でした。



ホストファミリーの皆さんと
(前列左端 本間蘭奈さん、右端 坂井雅さん)

オーストラリア語学研修12日間

新潟明訓中学校3年

野田 海生

普段、学校で習っている英語は、外国では実際にどのように使われているのだろうか——。そういう疑問が

私にはあつた。自分の英語は実際に通じるのだろうか。その疑問を解消するためと、異国の地やホームステイに興味があつて今回の語学研修に参加した。

オーストラリア初日の印象は、空港の案内表示などが、英語のみでシンプルだということ。しかし空港を出てみると街にはさまざまなる人種、どこか日本とは正反対な印象だった。また日差しが黄色く、日本よりも強い。シドニー郊外の町並みは日本で言う高級住宅街のような感じで、とても綺麗だった。中心部は近代的なビルと、古い造りの建物が混在していて趣があつた。

現地の学校は平屋建ての校舎とグラウンドしかない簡素なものだった。生徒数もたったの二十一人、でもそれがかえって馴染みやすかった。授業は実践的なものが多くて楽しく、先生も分かりやすくゆつくりと話

してくれましたので、しつかりと理解できました。現地の生徒とは休み時間に一緒にグラウンドで遊んだり、お菓子を食べたりして、言葉の違いなどは関係なしに、本当の同じ学校の仲間のように楽しく過ごせた。日本と違って、全体的に自由な感じで、のびのびでした。

ホームステイについては、異国の他人の家にお世話になるといのはとても不安だったけれど、家族の一員として過ごすのはかえって余計な気遣いがいらず、特に苦になることもなかった。一緒にテレビを観



引率の田中先生とブルーマウンテンズ

たり、ショッピングセンターに連れて行ったりして、来て、オーストラリアの日常に深く触れられた。ベジタリアンの家族だったので食事が工夫されていて、肉を使っていないソーセージやベーコンなど、変わったものが食べられて面白かった。味付けはあっさりしていて、お菓子はチョココレートなどの甘いものばかりで、次第にしょっぱいもの(醤油や味噌)が恋しくなっていた。

オーストラリア最終日に行ったブルーマウンテンズは日本では見ることのできない、筆舌に尽くしがたい壮大な景色だった。渓谷の下に一面ジャングルが広がっていて、CGの映像を見ているようで、現実感がなかった。まさに大陸の神秘だった。

この語学研修で、私は自分の英語に自信を持つことができた。普段習っている英語で、十二日間を十分に

過ごすことができたからだ。相手の言っていることが理解でき、相手に自分の意見を伝えられる自分がいるということが実感された。嬉しかった。また、英語が基礎だけでもできていれば、コミュニケーションをとるのは簡単なのだと分かった。文法にこだわらずとも、単語を並べるだけでも、とにかく何かを言えば、相手は必ず理解しようとしてくれる。相手の言っていることを理解しようという姿勢を私も見習いたい。

オーストラリアホームステイ語学研修に行つて

新潟明訓中学校3年

加藤 達也

僕は八月一日〜十二日、オーストラリアへホームステイ語学研修に行つてきました。

この研修には異文化を理解し、物事に対する新しい視点を持ちたいという気持ちと、自分が学校で二年半

学んできた英語をネイティブスピーカーがいる環境で試したいという気持ちから参加しました。そしてまた、その一方で東北では東日本大震災という未曾有の災害により、家や家族、友人を亡くし、今も不自由な生活を余儀なくされている同じ中学生が多くいる中で快く送り出してもらえ、感謝とその意味をよく考えなければならぬとも感じていました。

オーストラリアに来て、感じたことは、日本人とオーストラリア人の人柄の違いです。非常にフレンドリーな性格で、エベネザ・クリスチャン・ハイスクールの生徒さんたちとの初対面のとき、彼らはとても温かく迎えてくれました。

また、ホストファミリーも僕たちのことをまるで本当の家族のように、扱ってくれました。一緒にゲームをして遊んだり、買い物に連れて行ってくれたり、毎

日学校まで車で送り迎えてくれました。本当に感謝しています。



研修生の皆さん 背景はシドニー市街

次にオーストラリアの生活についてですが、ダウンタウン、郊外とともに、多種多様な民族・文化が存在することに大変驚きました。オーストラリアには二〇〇以上の異なる民族的背景を持つ人々が暮らしており、全人口の四分の一が海外生まれです。実際、白人をはじめとして、フィリピン人、インド人、中国人、アフリカ人がまるで同一の民族のように暮らしている

風景は、周りが殆ど日本人という環境に育ってきた僕にとつて、とても衝撃的でした。

食文化は多民族文化が大きな影響をあたえていて、街を歩けば、様々な国のレストランを見つけることができました。

シドニー市内にはチャイナタウンをはじめとする多くのフードストリートがあり、各々で各国のエスニック料理、もしくは各国の食文化がミックスされた、ユニークで斬新な料理を楽しむことができました。

また、たいていのオーストラリア人は日本人と違い、何らかの宗教を信仰しています。オーストラリアは多民族国家なので、その実情は非常に興味深いものでした。たとえば、オーストラリアではローマ・カトリックの教会のすぐ近所にモスクが存在することです。これには正直怖さを感じました。国際的にキリス

ト教とイスラム教は長年歴史的に、また、思想の違いから対立しているからです。しかし、ホストマザー

いわく、基本的に両者間で宗教的な、いがみ合いはあまりないそうです。このことにも驚かされました。

この研修に参加し、この旅の目標である新しい視点の獲得、また自らの英語力の研鑽を達成できました。また、日本の震災後の現状を伝えることができました。そして海を越えたかけがえのない家族や友人をつくることができ、とても有意義な研修になったと思います。

最後に、私たちの為にご尽力くださった町長をはじめ、町議会議員、役場職員、引率の先生、旅行会社の方々、そしてなにより私たちの海外研修を応援してくださる両親に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。ございました。

オーストラリア研修に参加して

聖籠中学校2年

星野 真美

町役場、先生方、親、旅行会社のおかげで、遠い南半球のオーストラリアへ行くことができました。私は、今回で5回目の海外旅行でしたが、いつも新潟空港からで、成田空港から行くのは初めてだったので、遠くて戸惑いました。

オーストラリアは、オーストラリア連邦という国名で、日本の二十一倍の広さ(七六八万二三〇〇km²)があり、人口二千二百九十九万人、首都はキャンベラで、元首はエリザベスⅡ世、議会制民主主義国で、白人系九十二パーセント、アジア系七パーセントの人が住んでいます。信仰はカトリック教が二十五・八パーセントで、他はキリスト教・仏教・ユダヤ教などです。



オペラハウスをバックに

まれオーストラリアらしい海岸でした。

私たちが、ホームステイをさせてもらったところは、お父さん、お母さん、息子さんのいる家庭でした。私達は三人が一部屋で過ごしました。いろいろな話が出来て楽しかったです。奥さんは、学校に行く時、お弁当を作ってくれました。嬉しかったです。外国の人の優しさに触れたように感じました。ご飯はやっぱり、日本のコシヒカリ[®]がおいしいです。帰って来てから、納豆ごはんを二杯食べました。牛乳も格別な味がしました。貴重な体験をさせてもらって本当に感謝しています。

英語はあまり話せませんでした。旅の魅力がいっぱい詰まった「旅大陸」へまた機会があったら行ってみたいと思います。たくさん感動をありがとうございました。

多民族国家のオーストラリア

新潟大学附属

新潟中学校2年

長谷川 滋生

オーストラリアは楽しかったです。ホストファミリーとボーリング、卓球、オペラハウスやハーバーブリッジ観光、チャイナタウンに行ったこと。僕たちみんなで行った動物園、ブルーマウンテン。海で遊んだこと。現地の学校で遊んだこと、学んだこと。バーベキューをしたこと。

しかし、僕の目的は、ただ楽しむことではなく、日本とオーストラリアの違い

を見つかることでした。

いちばん興味深かったのは、いろいろな民族の人がいることです。アフリカ系の人、アジア系の人、ヨーロッパ系の人、原住民などです。僕の身近な人にもいました。ホストファミリーの母親は南アフリカの人でした。なぜそんなにいろいろな民族の人がいるのか？疑問に思ったので調べてみました。

まず、オーストラリアにたくさん地下資源があることです。一八五〇年代と一八九〇年代のゴールドラッシュのころや一九六〇年代の採掘ブームの時代に、それを求め、世界中から人々がやってきたのです。次に、政治上の問題で渡ってきた人がいるからです。たとえば、一九四〇年代、第二次世界大戦中にヨーロッパで迫害を受け、十二万人も移り住んできたユダヤ人や、内戦で国を逃れてきたアフリカ系の人々

です。

また、ワーキングホリデー制度が実施されているからです。日本の一八歳から三十歳の人たちが、働ながら観光旅行ができるようにしたこの制度を利用して

います。今回の語学研修では、オーストラリアと日本の違いを知ることができましたが、英語の学習はあまりできませんでした。ホストファミリーがiPhoneで日本語に直してくれたので、僕が使った英語は、「Yes」、「No」、「OK」、「Thanks」だけでした。

オーストラリア・ホームステイ語学研修を終えて

聖籠中学校2年

小林 聖

八月一日から十二日までオーストラリア・ホームステイ語学研修に僕は参加しました。オーストラリア・ホームステイで、思ったこ

とは二つあります。

一つ目は、オーストラリアの建物です。オーストラリアの家は、二階建てが少なくてビックリしました。僕の中では、オーストラリアは、二階建てが多くてキレイな町だと思っていましたが、僕達が泊まった所は一階建てが多くて最初は「やだなー」と思いましたが、何日もホームステイしていると、一階建ての方がみんなが集まりやすいと感じました。オーストラリアの家族はみんなという時間が日本より長く、仲が良かったです。とても良いことだなあと思いました。

二つ目は、オーストラリアの自然です。オーストラリアの自然はすごくキレイで、海にプールがあり、お年寄りや赤ちゃんが入っても大丈夫のように、囲まれています。あと僕達がオーストラリアに行っている時は、日本と時差が、一時間しかないのにオーストラ



美しいビーチで集合写真

リアは寒く気温が十八度ぐらいしかありませんでしたが、海でサーフィンや泳いでいる人がいて、オーストラリアの人は元氣だと思いました。それから、オーストラリアの人はいつもみんな笑っているの、「本当にいい人たちなんだな」と思いました。

最後に、オーストラリアのスーパーで、服のえりを直してもらった時に「サンキュー」と言えて、相手の人も喜んでいたので、とっさの一言が大切だなと思いました。オーストラリアに行けたという貴重な体験ができてよかったです。



世界遺産ブルーマウンテンズにて

祝敬老

敬老会開催

敬老会は長い間社会に貢献された
皆さんを敬い、お祝いする会です

町から長寿祝い金

町では九月一日現在で九十歳以上の方に「長寿祝い金」を支給しています。

今年は、一六三人の方が対象となり、「いつまでもお元気で」と長寿をたたえ、お祝い金を贈りました。

また、敬老会会場で曾根弘さん（蓮濁）が対象者を代表して、町長から長寿祝い金をお受けになりました。

九月十六日（金）町民会館において敬老会が開催されました。

長い間社会に貢献されたみなさんを敬い、お祝いする会です。今年の対象となる七十歳以上のみなさんは、二、二四七人（男性八五二人、女性一、二九五）人でした。

敬老会にはそのうち八四〇人が参加され、亀代子ども園児と交通安全母の会、老人クラブ連合会の皆さんによる歌や踊りで楽しい時間を過ごされました。



88歳を代表して表彰状を受ける岩瀨均さん（二本松）



80歳を代表して表彰状を受ける中村年夫さん（外畑）



70歳を代表して記念品を受けとられた渡邊隼六さん（山三賀）



被敬老者代表としてお礼の言葉を述べられる市川勝榮さん（本諏訪山）



長寿祝金を受けられる曾根弘さん（蓮濁）



亀代子ども園5歳児は元気いっぱいに亀っ子ソーランを披露しました。



交通安全母の会の皆さんは、楽しい寸劇を熱演し、交通安全を呼びかけました。

詐欺的な投資の勧誘にご用心!

複数の業者が登場しうまい話をもちかける
こんな勧誘文句にご用心!

「上場確実です」「必ず儲かります」「元本保証」

「株を高く買い取ります」

「株の被害を回復してあげます。その代わりに未公開株を買い取ってほしい」

「お金を振り込むので代わって株を購入してほしい」

「必ずもうかる」「高配当」「元本保証」といった問題勧誘があった場合は契約してはいけません。お金を振り込んでからでは取り戻すことが難しくなります。



消費生活



通信

10月

vol.29

☑ 役場町民課
消費生活センター
27-1958 (直通)
※来所の際は事前にお電話頂けると確実です。

旧“茶のしずく石けん”でアレルギー被害!

(株)悠香の“茶のしずく石けん”が、呼吸困難などの重篤な小麦アレルギーを引き起こすとして自主回収されています。

商品は平成22年12月7日以前に販売された旧製品です。全国でたくさんの相談が寄せられています。

こんにやく入りゼリーの容器に注目!

こんにやく入りゼリーをのどに詰まらせて死亡する事故は、子供や高齢者に集中しています。

平成19年9月より、子供や高齢者に食べさせないようにマークを表示しています。



悪質な出会い系サイトにご注意!

「悩みを聞いて」「お金をあげる」「文字化け解除の為にポイントが必要」などと言うメールを安易に信用しないでください。

【事例】悩みを聞いてくれたら謝礼・・・??

携帯の副業サイトに接続したら、大量の出会い系メールが届いた。その中から「悩みを聞いてくれたら謝礼をする」というメールをクリック。謝礼は貰えるし、人助けにもなると思い、現金やカードで多額のメール交換代を支払った。しかし、結局謝礼はもらえず、カード会社から多額のメール交換代の請求が来ている。どうしたら良いか。(新潟県消費生活センターの事例より)

【アドバイス】今までの経緯を整理して文書にし、サイトの決済代行会社とカード会社に通知します。その後話し合うこととなりますが、被害を回復することは容易ではありません。あやしいサイトには近づかないでください。



有限会社アベシュウ食品

所在地：聖籠町位守町160-42

☎：025-256-4001

FAX：025-256-4004

ホームページアドレス：<http://www.abeshu.jp>

創業より73年、弊社におきましては、『皆様から“ありがとう”といっ
ていただける商品創り』を理念に歩んでまいりました。

健康に留意する食品も大変重要ではございますが、伝統の味を守りな
がら一人でも多くのお客様に「おいしい」と喜んでいただける商品創り
を心掛けております。

これからも会社一丸となり取り組んでまいります。



がんばってます！
東港立地企業



vol.10

東港立地企業連絡協議会の会員
企業95社を順次ご紹介します。



浅見鉄工建設株式会社

所在地：聖籠町東港3丁目872番地12

☎：025-256-2161 FAX：025-256-2777

当社は、昭和34年 浅見組として鉄(リベット)打業(鉄
骨の梁や合掌等を鉄で留める)で事業を開始いたしました。

その後は、事業の中心を建物の骨組みである鉄骨の製
造業及び建設現場での組立作業に移し、地域発展に寄与
してまいりました。

県庁・新潟空港・東北電力ビッグスワンスタジアム等
の県内主要工事のほとんどに関与させて頂いており、鉄
骨工事のプロフェッショナルとして建設作業を通じて社
会発展の礎となる事業活動を展開しております。

今後も尚一層作業員の安全はもとより、今まで培われ
てきた技術力と長年の経験を活かし、聖籠町の地域発展
に貢献できるよう努力してまいります。



東港立地企業連絡協議会とは…

新潟東港工業地域の聖籠地区に立地又は土地を所有する企業により構成されている協議会
で、現在95社が参加し、行政機関と立地企業間の連絡調整や、企業間の情報交換を行うこと
で技術の研鑽及び親睦を図り、行政機関・企業の事業展開を支援するとともに、地域の福祉
と文化の向上に資するため活動しています。

お問い合わせ 東港立地企業連絡協議会事務局（役場東港振興室）（内線242）

町の動向

このコーナーでは、役場各課の主な業務、各種委員会の活動などを町民の皆さんにお知らせします。

掲載内容についての、ご意見・ご質問などがありましたら、担当課又は総務課広報担当まで電話か町政ポストのハガキでお寄せください。

東港振興室

■船による初めての「みなと見学会」

町民の方に身近にある東港について知っていただくを目的に、港内を船で見学する「みなと見学会」を国土交通省新潟港湾・空港整備事務所の協力を得て8月24日(水)～26日(金の3日間、計7回(1回1時間程度)に渡り行いました。今回は町内の小学生とその保護者を対象に22組(子供34人、保護者26人)の参加がありました。

3日間を通じ波も穏やかで、船酔いで体調を崩す方もありませんでした。参加者は、船内で港の役割や施設などの説明を聞いたあと、甲板に出て船から見る東港の景観を楽しみ、夏休みのいい思い出になったと喜んで



いました。
終了後に行ったアンケートでは、「とても楽しかった」「もっと遠くへ行きたい」「東港の工場も見学したい」「また企画してほしい」などの感想が寄せられ、東港に対する興味が増したように感じられました。

学校教育課

8月26日(金)

■第8回聖籠町教育委員会定例会開催

・就学援助の認定について
・教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価について
以上の2項目について審議されました。

8月19日(金)

■学校訪問

フレンドルーム、学校給食共同調理場訪問

農業委員会

8月25日(木)

■聖籠町農業委員会第21期第18回総会

・農地法第3条の規定による許可申請について
・農地買受適格者証明願いについて
・農地法第5条の規定による許可申請について
以上の3項目について審議されました。

8月28日執行聖籠町議会議員一般選挙 啓発活動

8月28日(日)に執行された聖籠町議会議員一般選挙の投票率アップに向けて啓発活動を行いました。

街頭啓発

町選挙管理委員は8月6日(土)、夏まつり会場であるスポーツアイランド聖籠にて、また8月15日は成人式会場である町民会館でウェットティッシュを配りながら投票の呼びかけを行いました。

天候にも恵まれ多くの町民が集った夏まつり会場では用意したウェットティッシュが早々になくなってしまうほど。また、成人式会場では選挙が成人式と同じ月に行われることや、選挙権を初めて行使できる人もいることで、関心の高さが感じられました。



防災無線

このたびの聖籠町議会議員一般選挙では、町内の中学生が防災無線による啓発放送を行いました。担当してくれたのは聖籠中学校3年生の青木佑弥さん(網代浜)と本間蘭奈さん(正庵)でした。

2人は聖中祭の準備で忙しい合間を縫って役場に集合し、緊張しながらも録音に臨み、投票のお願いを爽やかに読み上げました。



交通ルールを守ります！ 新成人のみなさんが交通安全を宣言！



今日も一日交通安全

交通安全に関することは
 役場 生活環境課
 ☎ 27-1962 (直通)

聖籠町交通安全母の会では、町の成人式の会場で「交通安全 20歳の誓い」を呼びかけ、署名運動を行っています。この活動は昭和58年から毎年行っているもので、今年で28回目の活動となります。今年、町民会館で8月15日(月)に母の会の役員で呼びかけを行い、参加した全ての新成人から署名してもらいました。また、会場には母の会のマスコット“事故ナスよ”ちゃんも駆けつけ、新成人を祝福してくれました。

式場では新成人を代表して高崎竜士さんが『交通安全 20歳の誓い』を読み上げ、安全運転を誓いました。また、8月19日(金)には新成人の高橋啓太さんと長谷川楓さんが新発田警察署長に署名簿を提出しました。



みなさんおめでとうございます♪

中学生大活躍！体験学習頑張りました！！

8月9日(火)に、聖籠中学校の2年生3名が体験学習として交通安全業務を行いました。3名には、中学校の部活動に向かう生徒に対しての街頭指導、町内にある横断歩道の横断旗の入れ替え、交通安全用看板の設置、そして、きたる9月16日(金)に開催される敬老会での、母の会が交通安全を呼びかける劇の小物作りをしてもらいました。

最初は緊張気味だった3名でしたが、体験学習を終える頃には笑顔を見せ「交通安全の仕事内容を初めて知りました」「これからは自分たちが率先して交通安全を呼びかけていきたい」と感想を述べました。

交通安全意識の高揚を図るためにも、これからも意欲的な生徒の体験希望をお待ちしています。



高齢者交通安全推進員の皆さんお疲れ様でした。

9月1日(木)に、新発田市豊浦地区公民館で、今年度から新たに高齢者交通安全推進員になられた2名の方と、既に推進員として活動頂いている3名、合せて5名の方々と高齢者交通安全推進員認定講習会を受講してきました。これは、県が高齢者に対する交通安全思想の普及及び交通安全教育を推進するため、高齢者交通安全推進員を認定し、高齢者の交通事故防止を図ることを目的としているものです。町では15名の町内老人クラブから推薦された推進員がおり、町の交通安全業務にご協力いただいています。

これからも、交通事故を防ぐためにも、よろしくお祈りします。



町の交通事故発生状況

区分	8月			1月～8月(累計)		
	発生件数	死者数	傷者	発生件数	死者数	傷者
平成23年	6	0	6	43	1	56
平成22年	4	0	4	38	0	40
増減	+2	0	+2	+5	+1	+16

スローガン

“ひろげよう 長寿社会へ 無事故の輪”

10月1日(土)～11月30日(水)

高齢者交通事故防止運動が始まります

高齢化社会の進展に伴い、高齢者が被害者となる交通事故が多くなるとともに、加害者となる事故もこれから更に増えることが心配されています。このことから、高齢者の事故が多くなるこの時期に、運動を行い、高齢者の交通事故防止を図ります。

◆道路横断時の安全確認の徹底

歩行者は、道路を横断するときは、左右の安全をしっかりと確認し、車が見えたら、無理に渡らず、通り過ぎるのを待ってから渡りましょう。



◆夜光反射材の活用

夜間の外出時には、夜光反射材を活用するとともに、明るい服装を心がけ、ドライバーからも目立つようにしましょう。



◆高齢運転者の安全確認の徹底

車を運転する際、一時停止場所では、確実に停止して安全確認を徹底しましょう。



忘れていませんか…交通災害共済見舞金



町では、「新潟県交通災害共済」の申請事務を行っております。交通災害共済は、会員が交通事故に合った際、市町村として救済対策を講じることを目的とした、県内全市町村で行う助け合いの制度です。

見舞金の請求期間は、事故から1年となっていることから、交通事故に合われた場合には、お早めに生活環境課までご相談ください。(全ての交通事故が対象となるわけではありません)

申請の際には、医師の診断書等が必要となりますが、相当の費用がかかることがあります。他の保険請求に使用した診断書の写しで請求できる場合もありますので、窓口で確認した後に取得することをお勧めします。

また、未加入の方は、随時加入申し込みを受け付けています。

みんなで参加しましょう 聖籠町まちなか防災訓練

訓練実施日 10月16日(日)
実施時間 午前9時～午前11時
実施場所 町内全域(全集落)

10月16日(日)にまちなか防災訓練を実施します。今回の訓練は、平成19年度から実施している地域・住民主体型の訓練です。これまで各自主防災組織(集落)で取り組んできた内容をさらに充実させながら、町民一人ひとりの尊い生命を守ることを重点に地域住民の助け合いの体制づくりを推進し「災害に強いまち・聖籠町」を作り上げていくため、より多くの町民のみなさんの参加をお願いします。



昨年の外畑集落の訓練の様子

お問い合わせ 役場生活環境課(内線282)

子宮頸がん検診のお知らせ



あなたは
受けてましたか？

まだ子宮頸がん検診を申し込んでいない方

申し込んだが、忙しくて
まだ検診に行っていない方

1年に1回、検診を受けましょう。
まずは、下記へお申込みください。

検診はお早めに。

※施設検診（医療機関）の検診期間は、**今年の12月末までで、残り3ヶ月**です。検診の受け忘れがないように、ご注意ください。

☎**役場保健福祉課(保健福祉センター)保健衛生係** ☎27-6511

毎日の暮らしの中で、行政や特殊法人の仕事についての苦情や疑問は、時として避けられないものです。そのようなときは「行政相談」をご利用ください。例えば、「各種の申請で不要な書類の提出を求められた」「処理が間違っている」と思い、質問したが納得できる説明がない」「公共施設の破損危険箇所の修繕をお願いしたが、聞き入れてもらえない」など。

行政相談は、「国の行政

**お寄せください
行政に関する
苦情・疑問**

機関の仕事」「法令に基づいて県や市町村が行っている国の仕事」などについての苦情や疑問の申し出を受け、中立の立場からあつせんを行うことで、その解消の促進を目指します。

聖籠町を担当する行政相談委員は、三賀の宮野幸治さんと亀塚の細貝美奈さんです。秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

■定期相談

- ・日時 毎月第2火曜日の午前9時30分～午前11時
- ・方法 面談
- ・会場 役場1階 消費生活相談室

☎**役場総務課(内線226)**

町長の動向

(主なものを抜粋)

10月

- 2日 こども園運動会(蓮濁)
- 3日 主要地方道新発田・津川線整備促進期成同盟会総会
- 6日 安全安心まちづくり大会 in 新発田・聖籠2011
- 9日 こども園運動会(蓮野・亀代)
- 13日 平成23年度津波セミナー
- 10日 スポレク祭
- 13日～14日 平成23年度全国保育所理事長・所長ゼミナール
- 15日 聖籠町植樹祭
- 16日 聖籠町防災訓練
- 26日～28日 港湾を考える全国集会・中部ブロック府県町村会長会議
- 29日 聖籠中学校開校10周年記念式典

INFORMATION

お知らせ

お問い合わせ先

聖籠町役場	☎27-2111
町民会館	☎27-2121
図書館	☎27-6166
保健福祉課(保健福祉センター内)	☎27-6511
上下水道課(水道管理棟)	☎27-5141
診療所	☎27-1234

INFORMATION

10月の行事

《相談事業》

- ところ 役場1階 消費生活相談室
- ◆行政相談
- 11日(火)
- 午前9時30分～11時
- ☎**役場総務課(内線226)**

- ところ 結いハート聖籠
- ◆心配ごと相談
- 5日(水)、19日(水)
- 午後1時～4時
- ☎**町社会福祉協議会**
- ☎27-6767

《保健福祉事業》

- ところ 保健福祉センター
- ◆乳幼児健康診査
- 1歳2ヵ月児親子歯科健診
- 3日(月)午後1時15分～
- 1歳6ヵ月児健診
- 27日(木)午後1時15分～
- 乳児健診
- 28日(金)午後1時15分～
- ◆予防接種
- ポリオ
- 20日(木)午後1時00分～

8月の届出

げんきなよい子

出生

赤ちゃん	保護者	行政区
みきと 希翔ちゃん	(諏方 孝亮)	蓮潟新田
えな ちゃん	(小幡 友和)	次第浜
こうが 煌月ちゃん	(桐生 達矢)	網代浜
ようたろう 陽太郎ちゃん	(小川 正博)	本大夫
あきと 瑛斗ちゃん	(牛渡 司)	別 條
あすか 明日香ちゃん	(木村 和典)	蓮 潟
れん ちゃん	(横山 重)	次第浜
めい 結咲ちゃん	(高橋 勇樹)	網代浜
ちひろ 千寛ちゃん	(萩原 智)	亀 塚
い 芽衣ちゃん	(江畑 健)	山大夫
ほのか 歩佳ちゃん	(有田 修平)	亀 塚
こうだい 航大ちゃん	(横山 龍一)	藤 寄
まこと 真央ちゃん	(羽田野麗人)	上大谷内
あし 蒼司ちゃん	(渡辺 賢一)	網代浜
たつや 達也ちゃん	(中村 睦樹)	山大夫
ほつせ 紡世ちゃん	(今 智夫)	稲の平
こころ 心ちゃん	(加藤 聡)	蓮 野
あゆみ 萌衣ちゃん	(嶋村 幸三)	網代浜
あきく 咲来ちゃん	(野村 悟)	亀 塚

幸せ多い人生を

婚姻

新郎・新婦	行政区
近藤 佑輔さん	別 條
(渡邊) 睦美さん	
鈴木 大將さん	網代浜
(中野) 友里恵さん	

ごめいふくをお祈りします

死亡

氏名	年齢	行政区
稲月 美根子さん	(100歳)	次第浜
天尾 美知恵さん	(86歳)	藤 寄
山口 正幸さん	(81歳)	別 條
星野 トメノさん	(88歳)	外 畑
八幡 和夫さん	(83歳)	大夫興野
高橋 忠平さん	(77歳)	真 野
本田 チエさん	(97歳)	次第浜
志賀 留美香さん	(44歳)	蓮 潟
渡邊 ヒサコさん	(71歳)	藤 寄

(注1) 町役場へ届出を提出された方で届出の際にご承諾の押印をいただいた方のみ掲載しております。
 (注2) 略した文字で掲載しております。
 戸籍の氏名と異なることがあります。
 ご了承ください。

活かされています！ 地域振興支援事業補助金



広報3月号でもお知らせしましたが、町では、地域自治の振興を図るため、集落などで行われる活動に助成を行っています。より多くの集落などに活用していただき、地域づくりにつながるよう、改めてお知らせします。

1 対象団体	集落、団体（町民20名以上で組織され、事前協議で対象と承認する団体）																								
2 対象事業	地域自治の振興を図るための活動で、おおむね次のような事業を対象とします。ただし、他の補助金の対象となる事業、宗教に関する事業、および政治的活動に関する事業は除きます。また同一事業の継続は3か年を限度とします。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業分類</th> <th>取組みの例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流事業</td> <td>お祭り、運動会</td> </tr> <tr> <td>福祉事業</td> <td>高齢者世帯への訪問・弁当配布</td> </tr> <tr> <td>青少年健全育成活動</td> <td>地域の青少年の野外活動</td> </tr> <tr> <td>モラル・マナーアップ活動</td> <td>講演会、あいさつ運動</td> </tr> <tr> <td>伝統芸能の保存伝承活動</td> <td>集落等に伝わる伝統芸能の保存伝承のための活動</td> </tr> <tr> <td>健康増進活動</td> <td>各種教室・講演会の開催</td> </tr> <tr> <td>体育・レクリエーション活動</td> <td>ハイキング、サイクリング</td> </tr> <tr> <td>生活環境の改善・向上活動</td> <td>緑化運動、道路清掃</td> </tr> <tr> <td>防災・防犯・交通安全対策活動</td> <td>防災等訓練、交通安全教室</td> </tr> <tr> <td>ボランティア活動</td> <td>地域ぐるみでのボランティア活動</td> </tr> <tr> <td>広報紙発行活動</td> <td>集落の広報紙発行</td> </tr> </tbody> </table>	事業分類	取組みの例	交流事業	お祭り、運動会	福祉事業	高齢者世帯への訪問・弁当配布	青少年健全育成活動	地域の青少年の野外活動	モラル・マナーアップ活動	講演会、あいさつ運動	伝統芸能の保存伝承活動	集落等に伝わる伝統芸能の保存伝承のための活動	健康増進活動	各種教室・講演会の開催	体育・レクリエーション活動	ハイキング、サイクリング	生活環境の改善・向上活動	緑化運動、道路清掃	防災・防犯・交通安全対策活動	防災等訓練、交通安全教室	ボランティア活動	地域ぐるみでのボランティア活動	広報紙発行活動	集落の広報紙発行
	事業分類	取組みの例																							
	交流事業	お祭り、運動会																							
	福祉事業	高齢者世帯への訪問・弁当配布																							
	青少年健全育成活動	地域の青少年の野外活動																							
	モラル・マナーアップ活動	講演会、あいさつ運動																							
	伝統芸能の保存伝承活動	集落等に伝わる伝統芸能の保存伝承のための活動																							
	健康増進活動	各種教室・講演会の開催																							
	体育・レクリエーション活動	ハイキング、サイクリング																							
生活環境の改善・向上活動	緑化運動、道路清掃																								
防災・防犯・交通安全対策活動	防災等訓練、交通安全教室																								
ボランティア活動	地域ぐるみでのボランティア活動																								
広報紙発行活動	集落の広報紙発行																								
3 補助額	予算の範囲内で次の要件に基づいて交付します。 ●対象経費の2/3を補助します。補助額の上限は30万円です。 ●飲食代は、総事業費の20%以内まで対象経費とします。																								
4 事前協議	10月14日(金)までに事前協議を行ってください。																								
5 その他	内容審査により補助対象事業とならないこともあります。																								

お問い合わせ 役場総務課 総合政策係(内線229)

入札結果

入札日 平成23年8月18日～8月30日

件名	場所	契約額(円)	業者名	納入完了日又は工事(委託)期間最終日	入札方法
1 藤寄生活道路舗装修繕工事	聖籠町大字藤寄地内	2,257,500	(株)下越道路	平成23年10月13日	指名競争入札
2 聖籠海洋レクリエーション交流施設外構工事	聖籠町大字網代浜地内	22,848,000	(有)樋口建設	平成23年12月12日	指名競争入札
3 聖籠海洋レクリエーショントイレ建設工事	聖籠町大字網代浜地内	9,450,000	曾根建(株)	平成23年11月12日	指名競争入札
4 学校給食共同調理場用備品購入(スチームコンベクションオープン)	聖籠町学校給食共同調理場	10,500,000	研冷工業(株) 聖籠営業所	議会議決日より120日間	指名競争入札
5 外畑生活道路舗装修繕工事	聖籠町大字二本松地内	1,522,500	本間道路(株) 下越営業所	平成23年10月24日	指名競争入札
6 次第浜生活道路舗装修繕工事	聖籠町大字次第浜地内	2,394,000	東亜道路工業(株) 下越営業所	平成23年11月3日	指名競争入札

平成24年度採用 聖籠町職員（自動車運転手） 選考 考査 実施

平成24年度採用聖籠町職員（自動車運転手）選考考査を以下のとおり実施します。

1. 職種、受験資格、採用予定人員

職 種	受 験 資 格	採用予定人員
運転員	以下の条件をすべて満たす方 ・昭和59年4月2日以降に生まれた方 ・大型自動車運転免許を有し、大型自動車の運転経験が1年以上ある方 ・大型特殊自動車運転免許及び車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）資格を有する者 ※取得見込みは不可 ・過去3カ年の間に交通違反による免許停止又は免許取り消し処分を受けていない方	若 干 名

2. 考査日時、場所

区 分	日 時	場 所
選考考査	平成23年11月9日（水） ・受付：午前 9時30分から10時00分まで ・作文：午前10時15分から11時45分まで ・面接：午後 1時15分から	聖籠町役場2階 第一会議室

3. 考査結果の通知

受験者全員に対して11月下旬の予定。

4. 採用の日

平成24年4月1日。

5. 給 与

給料は、27歳で月額206,100円程度の見込みです。ただし、この金額は職歴、経験年数により変動します。また、この他に期末手当、勤勉手当及び状況により扶養手当、通勤手当等が支給されます。

6. 受験手続

受験申込書を平成23年10月20日（木）午後5時15分までに役場総務課まで提出してください。受験申込書は、役場総務課にあります。また、町のホームページからも取得できます。（ホームページアドレス <http://www.town.seiro.niigata.jp>）

問い合わせ先 役場総務課 職員採用担当（内線224）

後期高齢者医療制度のお知らせ

上手なお医者さんのかかり方 (その1)

お医者さんにかかるとき、ちょっとした誤解や思い込みで治療が長引くことがあります。上手にお医者さんにかかれば、体調はきちんと回復し、必要以上の医療費がかかることもありません。医療機関の受診や、薬局での薬の調剤の際には、以下のことに留意しましょう。

「かかりつけ医」を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、病歴や健康状態などを把握して健康管理全般のアドバイスをしてくれる医師のことです。

風邪などの軽い病気であれば、大きな病院でも身近な診療所でも治療内容はほとんど変わりません。診療所は待ち時間も短く、体への負担が軽減されます。

常日ごろから、ご自分やご家族の健康管理につとめ、少しでも体調に異変を感じたら、早期に「かかりつけ医」へ相談・受診することを心がけましょう。

【ご注意ください】

大きな病院では、初診の患者さんは紹介状が必要で、紹介状なしで受診する場合は特別料金が発生する場合があります。

お医者さんに分からないことは

確認しましょう

お医者さんの説明をよく聞いて、受診の疑問や不安を解消した上で治療にのぞみましょう。また、同様にお医者さんの質問にも隠さず答えることも重要です。



お医者さんの指示は守りましょう

ご自身の判断で処方された薬を飲まなかったり、薬の量を加減したりするのはやめましょう。

薬が余っているときは、お医者さんや薬剤師さんに相談しましょう。

お問い合わせ 役場町民課 保険係 (内線 117)

第21回敬和祭 “一期一会～KEIWA* past→present→future～”

- 日 時 10月22日(土)・23日(日) 午前11時～午後4時
- 会 場 敬和学園大学 (新発田市富塚1270)
- イベント内容



10月22日(土)

時間	イベント
午前11時～午後4時	屋台・教室展示
午前10時～午後1時	FMしばた生中継・収録
午前10時～午後4時	茶道部による茶会
正午～午後1時30分	外山節子客員教授による英語で遊ぼう!
午前11時40分～午後0時10分	アニメ研究部による「オタクが踊ってみた」
午後0時30分～午後1時30分	ブラスバンド部による公演
午後2時～午後3時40分	池上彰講演会&シンポジウム(受付終了)

10月23日(日)

時間	イベント
午前11時～午後4時	屋台・教室展示
午前11時30分～午後5時30分	学生ライブ
午前10時50分～午後2時	外国語スピーチコンテスト
午後0時50分～午後2時	国際ダンスサークル、Free スタイラズ、チアリーダー部によるダンス公演
午後2時～	ザブングルお笑いライブ&抽選会

敬和学園大学 敬和祭実行委員会 ☎26-2509

平成24年度こども園 新入園児募集

町では、子どもを健やかに育てるために、保護者の保育ニーズに合わせた保育と教育の取り組みを行っています。

新たに入園を希望される乳幼児の保護者は、期日までにお申し込みください。

幼稚園

蓮野こども園・蓮潟こども園・亀代こども園

■入園資格

- ・ 幼児、保護者とも聖籠町に在住していること。
- ・ 満3歳児から小学校就学前の幼児（ただし、在園児を除く）
平成18年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた幼児

■申込手続

- ・ 願書は、各こども園及び学校教育課に用意してあります。
- ・ 入園願書を幼児が在住する小学校区のこども園へ提出してください。

■受付期間

10月3日(月)～10月31日(月)
(土・日、祝日は除く)

■受付時間

午前8時30分～午後5時30分

蓮野こども園	☎27-8533
蓮潟こども園	☎27-5015
亀代こども園	☎27-8361
役場学校教育課	☎27-2111 (内線303)



保育所

聖籠こども園・聖籠はじめ保育園・まごころ保育園せいろう・まごころ保育園ひがしこう

■入所資格

- ・ 乳幼児、保護者とも聖籠町に在住していること。
- ・ 保護者、同居の祖父母等が仕事や病気などにより日中家庭内で保育ができないこと。
- ・ 聖籠こども園…生後6か月経過後の乳児から受入
- ・ 聖籠はじめ保育園
…生後2か月経過後の乳児から受入
- ・ まごころ保育園せいろう
…生後2か月経過後の乳児から受入
- ・ まごころ保育園ひがしこう
…生後2か月経過後の乳児から受入

■申込手続

保健福祉課（保健福祉センター内）に申込用紙がありますので、必要事項を記入のうえ、保健福祉課に提出してください。

■受付期間

10月3日(月)～10月31日(月)
(土・日、祝日は除く)

■受付時間

午前8時30分～午後5時15分

■留意事項

- ・ 年度途中から入所になる方（育児休暇が終わって仕事に復帰する等）についても、期間中に必ず申し込みください。
- ・ 現在仕事をしていなくても、平成24年4月からの就職を真に検討している場合は申し込みできます。
- ・ 後日、面接を実施し、入所の可否について決定します。（面接日時は決定次第通知します）
- ・ 保育料は平成23年の世帯の課税状況により決定されます。

■役場保健福祉課（保健福祉センター）

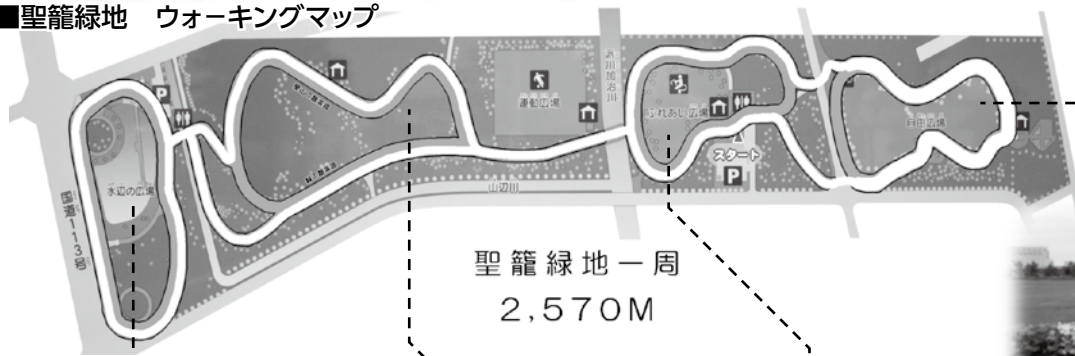
子ども家庭相談係 大沼 ☎27-6511

聖籠緑地ウォーキングロードのご紹介



聖籠緑地マスコットキャラクター
ハッピー

■聖籠緑地 ウォーキングマップ



聖籠緑地一周
2,570M



自由広場



ビオトープ



里山の散策路



ふれあい広場

新潟東港工業地帯に緩衝緑地として整備された県立聖籠緑地は、緑が多く、四季を通じて木々や花を楽しむことができます。ウォーキングコースも充実しており、ウォーキングマップやウォーキング看板などで歩いた距離がわかるようになりました。みなさんもウォーキングを通して聖籠緑地で健康増進しませんか？

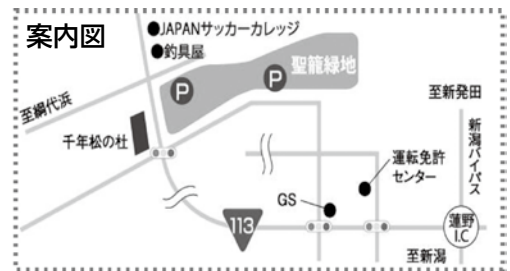
■交通アクセス 新新バイパス蓮野 IC より車で 5 分

■駐車場 有 (無料 44 台)

■管理者 県立島見聖籠緑地管理事務所 ☎ 025-255-3202
(指定管理者/グリーン産業株式会社)

■ホームページ <http://www.shimami-seiro.com/>

☒ 役場保健福祉課 (保健福祉センター) ☎ 27-6511



元教育委員長 宮澤氏に瑞宝双光章

七月二十五日に逝去された元聖籠町教育委員長 教育委員長 宮澤余雄氏 (網代浜) に、教育行政に顕著な功績が認められるとして国から瑞宝双光章が授与されました。



故宮澤氏は、平成三年から平成十五年までの十二年間、町教育委員会教育委員長として、長年懸案事項であった統合中学校の建設推進をはじめ、多目的屋内運動場等の教育施設の環境整備に尽力されました。

故人の教育環境向上に傾注された情熱に心から敬意を表しますとともに、ご遺族に対して町政発展にご尽力されましたことに感謝を申し上げます。(享年八三歳)

東日本大震災 町のこれまでの取り組み

3月11日に発生した東日本大震災から半年あまりが経過しました。町では、震災の発生直後から現在まで、被災された方々や自治体の支援を継続しています。

これまで町が行った主な取組をお知らせします。



6月2日(木)
渡邊町長が宮城県七ヶ浜町を訪問

項目	日時	支援内容	
災害支援本部の設置	3/15～	勤務時間外の従事職員数(3/15～4/22・のべ人数) 一次避難所(町民会館・聖海荘)257名、保健師148名、本部詰め114名、被災地派遣28名 計547名	
被災地への支援	3/12～17	十日町市松代地区	給水支援
	3/15～16、3/30	宮城県七ヶ浜町(※)	レトルトご飯17,000食、ペット水等50ケース、ウェットティッシュ3,500個、ポリバケツ(60L)20個、マスク3,380枚、水(1tタンク、0.6tタンク、18リットル入りポリ容器20個)、給水支援1台 ほか
	3/15、3/18、4/3	茨城県神栖市(※)	ペット水(500ml)5,380本、20リットル水100個
	3/20～31	宮城県村田町	給水支援1台
避難所等の設置	3/17～4/19	一次避難所(町民会館、亀代公民館、聖海荘)	348名
	4/19～	二次避難所(福祉避難所「なごみの家」、民宿6か所)	福祉避難所15名、民宿136名 ※9月13日現在、二次避難所は2か所、9名が避難
	7/26～	借上住宅	8か所、31名
物資受付	3/19～	米2,500kg、野菜750kg、みそ50kg、ペット水等2,200本などの食料品、タオル・毛布3,200枚 ほか、衣類・布団など多数の寄附がありました。	
義援金受付	3/14～	日本赤十字社・新潟県共同募金会町の避難者支援	日赤・共同募金 5,031,343円(9/13現在) 町への寄附 2,766,234円(9/13現在)
健康相談	8/8・22	町保健師による巡回健康相談会・電話相談	のべ90名
広報	3/25～5/20	毎週金曜に広報号外を全戸配布(4,200部・全8号)	

※ 全国石油備蓄基地市町村連絡協議会構成市町による共同支援も含まれます。

■南相馬市から町への職員派遣

事務職員 1名体制 4/11～9月下旬(予定)

看護師 最大で4名体制 4/13～7/29(派遣終了)

※ 東日本大震災の関連情報は、町ホームページにも掲載しています。



南相馬市へ戻る仲間を見送る皆さん
(8月31日 町役場前)

お問い合わせ 役場総務課 総合政策係(内線227)

聖籠中学校 開校10周年記念式典・ 祝賀会のご案内

聖籠中学校が開校し、10年が経ちました。

開校以来、当校を支えていただいている地域の方々と生徒が、ともに10周年の節目を祝い、新たなスタートを確認する機会として、下記のとおり記念行事を計画しました。

多くの皆さまのご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

■開催日 10月29日（土）

■会場 聖籠中学校 他

■当日の日程



学校の森も、植栽から
10年が経ちました。

受付 【生徒玄関】	8:50~9:20	*生徒玄関よりお入りください。
式典 【体育館】	9:20~10:25 ○主催者あいさつ ○御祝辞 ○聖籠中学校のあゆみと成果 ○生徒による劇「タイムカプセル」 ○校歌（合唱曲）披露	*お席は受付にてご案内いたします。 *ここで披露される校歌は、校歌作曲者の上越教育大、後藤丹先生に合唱曲として編曲していただいたものです。
全員参加イベント 【グラウンド】 ※雨天の場合中止	10:40~11:30 ☆人文字プロジェクト	*バルーンを使って空中から記念写真を撮影します。皆さまの立ち位置は、式典の最後にご説明します。
10年のあゆみ写真展 【廊下等】	8:50~16:30	*体育館から交流棟までの廊下に開校から10年間の写真を展示します。
聖中フェスティバル 【カフェテリア・ 体育館・青春広場】	12:00~15:00	*恒例のフェスティバルを開催します。カフェテリアではフリーマーケットが開催され、軽食も購入できます。
祝賀会 【割烹・聖友】	16:00~18:00	*祝賀会の会場は、「割烹・聖友」（☎27-2433）です。

■その他 祝賀会にご出席いただける方には、聖籠中学校・町民ホームページにて郵便振込用紙をお渡ししますので、必要事項をご記入のうえ、参加費用3,000円を振り込んでください。
なお、町民ホームページ（☎27-7085）での受付は月～金、午前8時30分～午後4時です。

お問い合わせ 聖籠中学校（担当 小田教頭または澁谷）☎27-7080

聖籠町に避難して

こられている方へ

小学校入学のご案内

町に震災等により避難している皆さんの中に、就学予定者（小学校に入学予定者）のお子さんはいませんか。

以前住んでいた市区町村に住所を置いたままでも、町の小学校に入学することができません。

希望する方は、すぐに町教育委員会までご連絡ください。

☎聖籠町教育委員会 学校教育課（内線302）

町の会議を傍聴

しませんか

町行政経営の指針となる第4次行政改革大綱について審議するため、第4回行政改革推進委員会を開催します。会議は公開で行い、どなたでも傍聴できます。

🕒10月3日（木）午後1時30分～

📍役場第3会議室

■定員 5名（当日、先着順）

（受付）

☎役場総務課 総合政策係

（内線229）

2012年版

新潟県民手帳を発売

新潟県統計協会発行の新潟県民手帳（2012年版）が発売されます。

町内では、宮脇書店（プラント4聖籠店内）で販売するほか、県内の取扱書店でも購入できます。

■発売時期 10月上旬の予定

■定価 1冊500円（税込）

■表紙の色は茶色で、スマートフォンポケットサイズです。

☎新潟県統計協会

☎025-285-5511（内線2433）または役場総務課（内線228）

危険物取扱者保安講習会のお知らせ

危険物取扱者保安講習会

「一般（その他）講習」を実施します。

🕒11月9日（水）午後1時30分～4時30分（開始30分前）

📍から受付

■受講手数料 4,700円

（新潟県収入証紙）

☎新発田市生涯学習センター

新発田市中心5-8-17

☑甲種・乙種及び丙種の危険物取扱者免状の交付を受けている人で、現に危険物取扱作業に従事している者、または受講を希望する危険物取扱者。受講時期は、免状の交付を受けた日または講習を受けた日から3年以内。

■予定人員 250名

■申込受付 10月5日（水）～10月19日（水）

ただし、予定人員に達し次第締め切ります。

☑受講申請書は新発田地域広域消防本部および胎内消防署にあります。

☎新発田地域広域消防本部予防課

☎22-8096

平成23年度酒類販売管理協力員を募集

スーパー、コンビニエンスストア、酒販店などのお酒を販売している場所では、未成年者飲酒防止のための表示を行うことなどが法律で定められています。

関東信越国税局では、買物などの機会を利用して、お酒の陳列場所の未成年者飲酒防止のための表示状況やお酒の販売価格などを確認し、税務署に連絡していただく「酒類販売管理協力員」を募集しています。

応募方法等の詳細につきましては、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp/>）をご覧ください。

☎新発田市生涯学習センター（新発田市中心）

☎金銭の貸し借り、土地・建物の問題、交通事故など民事全般、夫婦・親子の問題や相続問題などの家事全般

■相談担当者 新潟地方家庭裁判所所属の調停委員

■その他 相談は無料で、秘密は固く守られます。

☎新潟地方・家庭裁判所新発田支部

☎24-8255

☎025-229-2788（専門相談員への直通電話）

☎財務省 関東財務局 新潟財務事務所

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

調停相談会を開催

🕒10月26日（水）午前10時～午後3時

☎新発田市生涯学習センター（新発田市中心）

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

☎025-229-2788

水曜日の午前9時～11時30分
(要電話予約)

☑ 関東信越税理士会新発田支部
新発田市諏訪町1-13
17 (新潟酒販株) 2階

☎ 22-8598

精神科医による

「こころの健康相談会」開催のお知らせ

新発田保健所では、精神的な病気やこころの健康に不安を感じている方とご家族などを対象に、精神科医師による相談会を開催します。

開催日・担当医師

開催日	担当医師
10月18日(火)	有田 要 医師 (有田病院)
11月16日(水)	高須 庸平 医師 (県立新発田病院)
12月27日(火)	鈴木 孝幸 医師 (すずき医院)

※毎月1回開催します。
相談時間 午後1時30分～

3時30分の間で1時間程度
(予約制)

☑ 新発田地域振興局2階 予診室(受付) 新発田市豊町3丁目3-2

☎ 26-9133

☑ 新発田地域振興局健康福祉環境部(新発田保健所) 地域保健課

オストメイト社会適応訓練講習会を開催

公益社団法人日本オストミー協会が厚生労働省の委託を受けて行う講習会です。

どなたでも参加できますが、準備の都合上、事前に参加の申し込みをしてください。

10月16日(日) 午前10時30分～午後2時30分

☑ 諏訪神社豊谷殿(新発田市諏訪町)

☑ 講師 佐藤 早苗さん(新潟市民病院 皮膚・排せつケア認定看護師)

☎ 日本オストミー協会新潟県支部(源川医科器械株内)

025-229-7775

10月は「骨髄バンク推進月間」です

造血幹細胞移植(骨髄移植・末梢血幹細胞移植・臍帯血移植)は、白血病等の病気に有効な治療法です。多くの方々のドナー登録を必要としています。くわしくは『日本骨髄バンク』のフリーダイヤル 0120-445-445 またはホームページ <http://www.jmdp.or.jp/> をご覧ください。

「新発田朝市 十二斎市」を開催

野菜や名産品などの販売や、各種イベントを実施します。

10月9日(日) 午前9時～午後2時

☑ 新発田市旧寺町内(新発田市中央町2丁目、諏訪町2丁目)

☎ 同実行委員会事務局(敬和学園大学教務課内) 26-2514

テレビ・ラジオの受信障害に関するお知らせ

10月はテレビ・ラジオ放送の受信障害の防止対策を推進する「受信環境クリーン月間」です。

放送電波の受信障害とは、家庭用・工業用電気製品から発生する電気雑音、テレビ受信用ブラスターの異常発振、不法無線局、及び高層建築物によるビル陰障害等によって良好な放送の受信ができなくなるものです。

特に、「不法無線局」から放射される強力な電波(不法電波)により、テレビ・ラジオなどが妨害を受けるケースも多く、電波利用環境の悪化が懸念されています。

テレビがきれいに映らない、ラジオに雑音が入るといった電波に関するご相談は、信越総合通信局までどうぞ。

☎ 無線設備への混信・妨害及び違法な無線設備の情報に関すること

監視調査課

026-234-9976

☎ テレビ・ラジオなど放送の受信障害に関すること

受信障害対策課

026-234-9991

☎ その他、情報通信の行政相談に関すること

総合通信相談所

026-234-9961

信越総合通信局

ホームページ

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/shinetsu/>





アルビレックス 新潟情報!!

秋田キャンプを実施

アルビレックス新潟は9月1日から9月4日まで、秋田県にかほ市でミニキャンプを行いました。通常のシーズンでは中断期間にミニキャンプを行っていますが、今シーズンは日程の変更があったため、リーグ戦が一戦空く時期での実施となりました。4日間、仁賀保グリーンフィールドでのトレーニングとなりましたが、ピッチコンディションは素晴らしく「素晴らしいピッチ。来て良かった」と黒崎監督も話していました。

ここまで新潟は14位と浮上のきつかけがつかめず、苦しい戦いが続いています。そんな中、チームで寝食を共にすることで、さらに結束を高めてこれからの戦いに備えることが今回のキャンプの最大の目的。練習試合は行われませんでした。ピッチ外でのコミュニケーションは格段に増え「顔を合わせればサッカーの話をしてい」とは内田選手の話。練習場からホテルの移動の時は、常にトレーニングの振り返りなど、サッカーの話が絶えなかったそうです。



酒井宣福選手は「環境や雰囲気を変えることで、もう一度集中してトレーニングに取り組めた」と話し、今回のキャンプでは周囲のアドバイスを受けながらも積極的にプレーしていました。自由時間は自分の部屋にすることが多かったようですが、チームメイトとの生活を「普段よりも身の濃い時間を過ごせていると思います。楽しくやれていますよ」と笑顔で話してくれました。

この4日間ではトレーニングゲームは行いませんでしたが、最終日には25分を3本の紅白戦でキャンプを締めくくりました。メンバーを入れ替えながら進められましたが、どの選手も高い集中力で臨み、質の高い内容となりました。

全日程を終え、黒崎監督

は「選手が自らやろうとする姿勢を感じる事ができた」と一番の収穫を話していました。戦術の理解度なども、もちろん重要ではあります。が、今回のキャンプで感じられた自主性は、これからの厳しい戦いの中で必ず生きてくることでしょう。

残りの試合で少しでも勝ち点を積み上げられるよう、さらに結束を高めたアルビレックス新潟。残りの試合も少なくなってきましたが、選手への熱いご声援をよろしくお願ひします!

サマーフェスタ開催!

アルビレックス新潟、アルビレックス新潟選手会(三門雄大選手会長)では、8月28日(日)に日頃のアルビレックス新潟に対するご声援への感謝をこめて、サポーター感謝イベント「アルビレックス新潟サマーフェスタ2011」を、東北電力ビッグスワンスタジアム開催しま

した。トップチーム、レディースの選手・スタッフが参加し、スタジアムに駆けつけた約5,000人のサポーターとの交流を楽しんでいました。

トップチームは前日・8月27日(土)にJ1リーグ第24節、サンフレッチェ広島との試合を終え、イベント当日の午前中に新潟に到着。空港からその足で12時からのイベントに参加しました。ハードな日程となりましたが、どの選手もサポーターと直接触れ合うことでパワーをもらっていました。

「アルビー!イケ麺グルメ対決」と名付けられた飲食売店でのイベントでは、選手が6チームに分かれて、サマーフェスタオリジナルメニューを



考案しました。イベント前からこのメニュー作りに取り組んでいた選手達。練習後には試合も行われており、各チームともメニューの完成度の高さに驚いていました。

当日は選手自らが店頭に立つて販売を行いました。サポーターの方からは「頑張ってるよ！」など声をかけられ、選手も笑顔で応え、これからの戦いに向けてパワーをもらっていました。

そして、この日一番の盛り上がりを見せたのが選手によるパフォーマンス。トップチーム、レディースとこの日に向けて、少ない時間で練習を行ってきました。レディースは普段なかなか見ることできないメイクと衣装で登場。かわいらしいダンスで会場を盛り上げました。

トップチームのパフォーマンスは選手が女装姿をサポーターに披露。あまりの変貌ぶりに遠めでは誰が誰か分からないほどでした。練習の成果か、難しいダンスもほぼパーフェクトに近い完成度。サポーターからは拍手喝さいとなりました。

その後もピッチ上ではアデ

イダススペシャルマッチなどが行われ、最後まで会場は笑顔に包まれていました。閉会式では本間選手から「皆さんからたくさんパワーをもらうことができました。今度は試合に勝つことで、皆さんに笑顔になつてもらいたいと思います。今日はありがとうございました」と挨拶がありました。

これからの戦いに向け、今回のイベントで大きな力をもたらすことができました。サポーターの皆さんには心から御礼を申し上げたいと思います。今度はこのパワーを皆さんにお返しできるように、選手は最後まで戦い抜いてくれることでしょう。

※ 10月の試合日程

<Jリーグ>

第28節 10月1日(土)
VS横浜F・マリノス 15時
東北電力ビッグスワンススタジアム

第29節 10月16日(日)
VS川崎フロンターレ 15時
等々力陸上競技場

第30節 10月23日(日)
VSアビスパ福岡 14時
東北電力ビッグスワンススタジアム

<天皇杯>

2回戦 10月8日(土)
VS富山新庄クラブ 13時
東北電力ビッグスワンススタジアム

<なでしこリーグ>

第11節 10月1日(土)
VS INAC神戸レオネッサ 15時半
テクノポート福井スタジアム

第13節 10月16日(日)
VS浦和レッドダイヤモンズ
レディース 13時
鴻巣市立陸上競技場

第14節 10月22日(土)
VS日テレ・ベレーザ 14時
新潟市陸上競技場

第15節 10月30日(日)
ASエルフェン狭山FC 13時
鴻巣市立陸上競技場



東北電力にいがた



また、模擬店も出店し、焼きそばや豚汁、おしるこなどを販売いたします。
サッカー初心者の方も大歓迎ですので、お気軽にご参加ください！

サッカーを通して親子でのコミュニケーションを取る時間を提供し、地域との絆をより一層深めるために始めました「親子ふれあいサッカーフェスタ」。
7回目の開催となる今年は、11月6日(日)にJAPANサッカーカレッジで行われます。時間は、午前10時~16時で、受付は、9時30分より開始となります。内容は、親子サッカー教室、女子サッカー教室、宝探し、ストラップ作りなどです！対象年齢は、幼稚園・保育園~小学校6年生までです。参加費は無料となります！雨天時は、体育館で行います。

JAPANサッカーカレッジ 『親子ふれあいサッカーフェスタ2011』お知らせ



お申し込み方法は、左記の「お申し込み・お問い合わせ先」の郵便番号・住所・参加者の氏名・年齢・電話番号・FAX番号と、親子サッカー教室・女子サッカー教室・宝探し・ストラップ作りのうち、希望するイベントをご記入の上、FAXまたははがき、封書にて「親子ふれあいサッカーフェスタ2011」係へお申し込みください。お申し込みは、10月28日(金)です。ご不明な点がございましたら、左記までお問い合わせください。たくさんのご参加お待ちしております！

【お申し込み・お問い合わせ先】

〒957-0103
新潟県北蒲原郡聖籠町網代浜925-1
TEL: 0254-32-5357 FAX: 0254-32-5358
学校HP: <http://www.cupsnet.com/index.html>
HFL(北信越フットボールリーグ)
情報サイト: <http://www.cupsnet.com/hk/top.html>

JAPANサッカーカレッジ
HFLモバイルサイトは
こちらから!!





小林 蒼ちゃん



肥田野 葵ちゃん



高崎 陽士ちゃん



高松 悠斗ちゃん

町の宝で～す
8月の乳児健診から



元気に育ててね！

この写真は保健福祉センターで行われている乳児健診会場で4か月健診対象乳児を撮影しています。



井浦 優駿ちゃん



入倉 鳳太ちゃん



細山 琉心ちゃん



深井 桃花ちゃん



高地 結愛ちゃん



小山 裕麗ちゃん



渡邊 悠輔ちゃん



阿部 桜月ちゃん



五十嵐栄養教諭

食育コーナー
しょく ミ ラ ク ル
食は味楽来

～楽しく食べて健康な No.40
体と心を育てましょう～

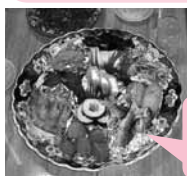
高知の皿鉢料理紹介 ～坂本竜馬も好んで食べたという～

この夏、四国は高知県で開催された**全国学校栄養教諭研究大会**に参加しました。高知は**竜馬伝**の影響もあり行ってみたい所でした。さすが南国、高知の天気は暑いというより「あっちえ」という天気でした。

大会には、全国から栄養士をはじめ、給食関係者約1000人が参加していました。日々子ども達の食育に取り組んでいる栄養教諭の実践発表を聞きました。全国の先進的な栄養教諭の発表は刺激的で、また子どもたちのために頑張ろうと感じました。

坂本竜馬も好んで食べたという皿鉢料理を紹介します。皿鉢料理は高知県の郷土料理です。家宝とされるほどの素晴らしい大皿に高知で取れる食材がぎっしり盛り合わされたご馳走でした。今で言うオードブルでしょうか。現在では土佐の特産物と現代的な料理を組み合わせてありましたが、昔はその地で取れた物を盛り合わせ、海の地方、山の地方では内容が違ったそうです。

その中でも欠かせないものはカツオと鯖やアジなどの姿鰯と四万十川の鮎、かまぼこ、そしてなんと羊かん。味付けには特産の柚子がふんだんに使われており、おいしい柚子の香りが南国の人々の暑さに負けない秘訣だったのではと思うほどでした。柚子ポン酢は野菜にかけてといくらでも食べられる優れたものです。そして生のちりめんじゃこ**“ドロメ”**は高知ならの珍味でした。桂浜の竜馬像にも会えて幸せでした。



酢味噌でいただくドロメ、茹でて干せば、ちりめんじゃこです。

皿鉢料理の中でも鯖の姿鰯が一番うまかった！



笹川 輝羽ちゃん



佐久間 凜ちゃん



北村 祥太郎ちゃん



加藤 桃華ちゃん



佐藤 花桜ちゃん



橋本 京汰ちゃん



桐澤 怜花ちゃん



長谷川 愛斗ちゃん

善意のご寄付 ありがとうございました

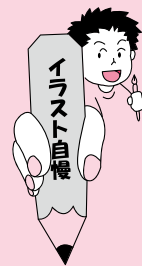
趣旨に添う
よう大切に
使わせてい
たきます。
ありがとうございます
ございました。

高橋忠義さん（次第浜）から、町の
子どもの施設のために使っていただき
たいと、9月7日（水）、ふるさと応援
寄附金100万円が贈呈されました。



高橋さん
は、68歳で
第一線を退く

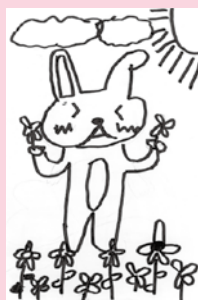
までの52年間、船長などで遠洋漁業に携
わりました。中でも、昭和39年から10年
間にガテマラで行った5回の操業では、成
績優秀として、日本と現地企業の合併会社
から2度の表彰を受けました。



りす子♡さん 7歳



酒井優姫さん 8歳



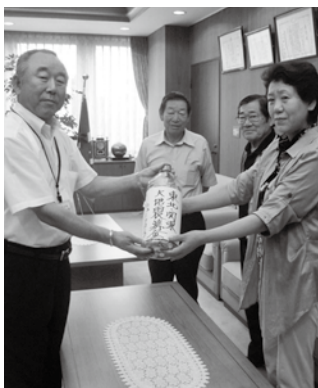
くるみさん 6歳



浜のサルさん 10歳

投稿するときは濃い鉛筆（2B以
上）かペンで書いてください。（薄い
ものは掲載できません）名前は必ず
書いてください。（ペンネーム希望の
場合は名前の横にペンネーム「〇〇
〇」と書いてください。
1か月に一人1枚だけ受け付けます。

ニューフローラ（次第浜）
の支援に使っていただきた
いと、9月5日（月）、義
援金が贈呈されました。
義援金は、町内の被災者
支援のため有効に使わせて
いただきます。ありがとう
ございました。



から、町内へ避難された方

善意のご寄付 ありがとうございました

聖籠中学校生徒が成績報告

9月7日（水）、この夏、北
信越及び全国大会で活躍した聖
籠中学校の生徒の皆さんが町長
室へ結果報告に来られました。
町長からねぎらいの声を掛け
られた選手一人ひとりの顔に
は、精一杯競技をしたという充
実感があふれていました。
成績は以下のとおりです。

〔北信越大会〕8月4日（木）

〔野球〕

富山県魚津市桃山運動公園
野球場
1回戦 対七尾東部中（石
川）0-5敗退

〔柔道〕

富山県射水市総合体育館

〔全国大会〕8月25日（木）

〔柔道〕

○男子個人60kg級
3位 村上陽太
○女子個人48kg級
1回戦 敗退 相馬里菜
○男子個人60kg級
1回戦 敗退 村上陽太
和歌山県ビッグホエール



報告に来られた生徒の皆さん。右から
相馬里菜さん（柔道）、村上陽太さん（柔
道）、ひとりおいて小林太成さん（野球）。
※いずれも3年生

日本海横断航路 開設

第1便が新潟東港に入港



新潟県と中国東北部を結ぶ日本海横断航路の第1便が8月18日(木)、新潟東港に入港し、入船式が行われました。

この航路は、新潟東港とロシアのザルビノ港を結び、ザルビノ港からは陸路で中国東北部へ向かう物流ルートで、中国大連港を経由するこれまでのルートに対し、輸送時間を大幅に短縮し、輸送コストも縮減して中国東北部やロシア、モンゴルへの輸送が可能となることから、新潟東港の新たな需要創出に大きな期待が寄せられています。

入船式には、渡邊町長や泉田県知事、篠田新潟市長などのほか、程永華駐日特命全権大使をはじめ、中国、ロシアの駐新潟総領事も出席しました。程大使は「新潟は日本海沿岸の交通の要所。航路の開設は環日本海経済圏の実質的な一歩となる。日本と中国、ロシアとの協力の規模を拡大し、黄金の水路を築こう」とあいさつしました。



我が家のペット自慢 No.1

第1回は本コーナーの発案者である岩崎さん宅(旭ヶ丘)のさくらちゃんを紹介します。



★プロフィール★
 名前 ◆ 桜花(さくら)
 生年月日 ◆ 2010年7月15日
 1歳2カ月の女の子
 犬種 ◆ 柴

★さくらちゃんについて★

昨年の夏休み最後の日曜日。犬を飼う予定もなかったのに、軽い気持ちでペットショップに行ったところ、「飼うなら柴犬」と決めていた娘が、生後1か月半のさくらにくぎ付け。抱かせてもらいますます飼いたい気分上昇。いったん帰ったものの、どうしても諦めきれずに、閉店間際にととうとう契約…となりました。

面倒は私が見る!と張り切っていた娘も、甘噛みや、引っ掻き傷が絶えず、しまいは怖がる始末。しつけの本を

読みあさり、四苦八苦。

その努力の甲斐もあつてか、今では何とか飼い主らしい態度で接することができるようになりました。

社交的で、どなたでも歓迎!といった性格のさくら。天気の良い日は、朝夕一時間くらい庭で遊んでいますので、見かけましたらお気軽に声を掛けてください。



自慢したいペット募集

可愛いペットを紹介したい方は写真(2~3枚)とプロフィール、紹介文(300字程度)を封書、またはメールにて役場総務課までお寄せください。住所、氏名、電話番号を忘れずに明記してください。掲載する場合、総務課から連絡させていただきます。なお、写真はプリントでも、データとしてメール添付でも構いませんが、返却はできませんので、ご了承ください。